

シラバス

授業科目	薬物代謝・毒性学特論		
(英文名)	Drug Metabolism		
担当教員	古野浩二、杉原成美		
単位数(期別)	1(前)	対象学生	1・2MP

■授業のねらい・概要■

薬物や毒物の体内動態を薬物代謝面から理解できるようになるために、肝臓について組織学や上皮細胞としての特徴を理解し、次に、薬物代謝酵素系に関する知識を修得する。

■授業(学習)の到達目標■

- 1 肝臓組織の構造的特徴が説明できる。
- 2 肝臓細胞を薬物代謝酵素を発現する上皮細胞として説明できる。
- 3 肝臓小胞体における電子伝達系と薬物代謝酵素の局在と半減期が説明できる。
- 4 薬物代謝酵素の種類と薬物による酵素誘導について説明できる。
- 5 ヒトにおけるp-450の多型と薬物特異性について説明できる。
- 6 グルグルン酸・硫酸などの抱合反応や抱合体の胆汁排泄機構について説明できる。
- 7 ヒトにおける薬物代謝酵素の遺伝子多型と薬物反応の個体差について説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- 1 肝臓組織の構造的特徴(古野)
- 2 肝臓上皮細胞の構造的特徴(古野)
- 3 肝臓小胞体における電子伝達系と薬物代謝酵素の局在と半減期(古野)
- 4 薬物代謝酵素の種類と薬物による酵素誘導(古野)
- 5 チトクロムP-450の遺伝子多型と薬物特異性(古野)
- 6 薬物抱合と胆汁排泄機構(杉原)
- 7 医薬品代謝の遺伝子多型による個体差(杉原)

■成績評価の方法・基準■

出席並びにレポートによる。

■使用テキスト■

最新衛生化学、廣川書店

■参考書■

薬物代謝の酵素系、講談社